

平成20年 2月28日
農 林 水 産 省

平成19年度病虫害発生予報第9号

冬期においても、施設を中心とした野菜類や花き類の栽培が多くなり、コナジラミ類、アザミウマ類、アブラムシ類の発生について注意が必要となってきます。これらの害虫の中には、ウイルス病の病原を媒介するものもあるので、適切な防除を実施してください。

また、特に果樹や茶などの永年作物では、春先の病虫害発生を抑えるため、罹病枝葉の除去、病斑部の削り取り及び傷害部への薬剤塗布並びに粗皮削り及びマシン油散布等の栽培管理が重要ですので、終了していないところは、早めに作業を実施してください。

春先の病虫害の発生を抑制するとともに、病虫害防除が効率的かつ効果的に実施できるよう、各作物ごとの基本防除を実施してください

また、天候の状況に注意しつつ、都道府県の発生予察情報に留意し、地域ごとの防除要否を見極めて、適切な病虫害防除を行ってください。

なお、薬剤散布を実施する場合には、病虫害が薬剤への抵抗性を獲得しないように、同一系統薬剤の連続使用を避けてください。

【用語の解説】

【発生量（程度）】

多い（高い）	やや多いの外側10%の度数の入る幅
やや多い（やや高い）	平年並の外側20%の度数の入る幅
平年並	平年値を中心として40%の度数の入る幅
やや少ない（やや低い）	平年並の外側20%の度数の入る幅
少ない（低い）	やや少ないの外側10%の度数の入る幅

（平年値は過去10年間の平均）

【地域】

北海道	道：北海道	岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
東北	北：青森県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県	
関東	信：山梨県、長野県、富山県、石川県、福井県	
甲北	陸：新潟県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県	
北東	海：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県	
近中	畿：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県	
中四	国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県	
九	州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県	
沖縄	縄：沖縄県	
北北	北：青森県、岩手県、秋田県	
東北	北：宮城県、山形県、福島県	
北北	北：茨城県、栃木県、群馬県	
北北	北：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県	
北北	北：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県	
北北	北：熊本県、宮崎県、鹿児島県	

【野菜及び花き類】

(施設栽培)

施設内は冬期間でも、農作物からの蒸散や土壌からの水分の蒸発により、湿度が高くなります。また、夜間加温が行われるところでは、更に病害虫が発生しやすい環境となるので、施設内作物を注意深く観察し、発生時には初期の防除を徹底してください。

過湿な状態は病害が発生しやすい条件になるので、対策として循環扇等により換気を良くしてください。また、伝染源となる罹病葉や罹病果は施設外に除去し、土中に埋める等、確実に処分してください。

コナジラミ類、アザミウマ類及びハダニ類等の微小な害虫は、果実や葉を吸汁・食害し着色異常や奇形を引き起こすので、発生状況に注意してください。

また、アブラムシ類、アザミウマ類及びコナジラミ類は、春先の温度上昇に伴って活発になることから、施設内の病原ウイルスを媒介し、ウイルス感染株を増加させることもあるので、これらの害虫を早期に防除してください。加えて、施設の開口部に防虫ネット等を設置し、ウイルス保毒虫の脱出防止対策を行うとともに、これらの害虫の発生源となる施設内及び周辺の雑草を定期的に除草し、ウイルス罹病株は早期に抜取り処分してください。

施設栽培における主な病害虫の発生予想は、次表のとおりです。

○今後の発生量が多い・やや多いと予想される病害虫及び対象地域

作物名／病害虫名	発生が多い地域	発生がやや多い地域
トマト／ 黄化葉巻病 うどんこ病 すすかび病 灰色かび病 葉かび病 コナジラミ類	ー 四国 四国 四国、九州 ー 九州	四国、北九州 ー ー 関東 北関東、四国、南九州 ー
きゅうり／ ベと病 褐斑病 アザミウマ類 コナジラミ類	ー 北関東、北九州 北九州 北九州	関東、四国、九州 四国、南九州 四国、南九州 南九州
なす／ すすかび病 コナジラミ類 ハモグリバエ類	四国 四国 北九州	南九州 ー ー
ピーマン／ うどんこ病 斑点病 アザミウマ類 コナジラミ類	南九州 四国 四国 四国	北関東、四国 南九州 南九州 ー
いちご／ うどんこ病 灰色かび病 アザミウマ類 アブラムシ類 ハダニ類	九州 南関東 南九州 ー 北関東、東海、南九州	関東、四国 北関東、四国 ー 四国、南九州 南関東、四国
きく／ ハダニ類	ー	南九州

（露地栽培）

向こう３ヶ月は、気温は全国的に平年並又は高いと予想されています。その他の気象条件は平年並と予想されています。引き続き、病害虫の発生動向に注意し、適切な防除を実施してください。

露地栽培における主な病害虫の発生予想は、次表のとおりです。

○今後の発生量が多い・やや多いと予想される病害虫及び対象地域

作物名／病害虫名	発生が多い地域	発生がやや多い地域
キャベツ 菌核病 黒腐病 コナガ	南九州 — —	— 南関東 沖縄
たまねぎ ネギアザミウマ	東海、北九州	—
ねぎ 萎縮病 ネギアザミウマ	南関東 南関東	— —
レタス 灰色かび病	—	関東、四国

【水稻】

育苗においては、健全種子の使用と、種子消毒を徹底してください。

また、育苗箱施用薬剤の選定に当たっては、いもち病で一部の薬剤に耐性菌が出ているので、都道府県から発表されている耐性菌の分布情報を参考にして、薬剤を選定してください。

なお、本田において除草剤を使用する際は、単一の剤を連続使用せず地域ごとに実態に合わせた薬剤を組合せ、使用に当たっては、止水期間を１週間程度とる、止水中の薬剤の流出を防止するなどの措置を講じてください。

【果樹】

常緑果樹では、カンキツかいよう病やカンキツそうか病等の病害は、罹病枝及び罹病葉が発生源となるので、昨年発生が多く見られた果樹園では、それらの除去を行う等、適切な管理を実施してください。

落葉果樹では、りんごの腐らん病については、病斑の削り取り及び傷害部への薬剤塗布を実施し、削り取った病斑は、焼却又は土中に埋めるなど適切に処分してください。また、なしの黒星病、もものせん孔細菌病等の病害については、園地に残ったままの剪定枝及び落葉等の残渣や罹病組織の除去を行ってください。加えて、春先の感染を防止するため、発芽前の薬剤散布を励行してください。

【その他】

前回（平成１９年１１月２９日）以降、各都道府県が発表している発生予察情報は下記のとおりです。

○注意報（前回未掲載分）

発表月日	県名	作物名	病虫害名
1 1月 27日	宮崎	ピーマン	黒枯病
1 1月 27日	宮崎	ピーマン	ミナミキイロアザミウマ
1 1月 27日	宮崎	きゅうり	メロン黄化えそ病（MYSV）

○注意報

発表月日	県名	作物名	病虫害名
1 2月 12日	三重	いちご	ハダニ類
1 2月 26日	宮崎	ピーマン	うどんこ病
1 月 25日	宮崎	いちご	うどんこ病
1 月 25日	宮崎	トマト	灰色かび病
2 月 1日	大分	トマト、いちご	灰色かび病
2 月 21日	鹿児島	いちご	灰色かび病
2 月 26日	宮崎	きゅうり	タバココナジラミ類
2 月 26日	宮崎	いちご、トマト、きゅうり	灰色かび病

○特殊報

発表月日	県名	作物名	病虫害名
1 1月 30日	福島	トマト	トマト黄化葉巻病（TYLCV）
1 1月 30日	沖縄	トマト	カッコウアザミ葉脈黄化ウイルス（AYVV）による病害
1 2月 1日	大分	ピーマン	ピーマン黒枯病
1 2月 3日	茨城	レタス	レタス根腐病
1 2月 5日	香川	トルコぎきょう、ねぎ、たまねぎ、てっぼうゆり	Iris yellow spot virus（IYSV）による病害
1 2月 10日	岩手	ピーマン	タバココナジラミバイオタイプQ
1 2月 12日	千葉	トマト	トマト退緑萎縮病（仮称）（TCDVd）
1 2月 12日	千葉	はくさい、キャベツ	トビイロシワアリ
1 2月 17日	新潟	きく、食用ぎく	アワダチソウグンバイ
1 2月 17日	新潟	トマト	トマトすすかび病
1 2月 18日	神奈川	カナリーヤシ	ヤシオオオサゾウムシ
1 2月 19日	鳥取	プリムラ	Impatiens necrotic spot virus（INSV）による病害
1 2月 20日	島根	大豆	ミナミアオカメムシ
1 月 9日	岐阜	なし（生果実）	サクセスキクイムシ
1 月 9日	福島	りんご、すもも	スモモヒメシंकイ

○特殊報（つづき）

発 表 月 日	県 名	作 物 名	病 害 虫 名
1 月 1 6 日	長野	トルコぎきょう	トルコギキョウえそ萎縮病（仮称）
1 月 1 6 日	埼玉	パンジー	ツマグロヒョウモン
1 月 2 4 日	大阪	いちじく	イチジクヒトリモドキ
1 月 2 8 日	熊本	きく	キク茎えそ病
1 月 2 9 日	愛知	トマト	トマト萎凋病（レース 3）
1 月 3 0 日	鹿児島	マンゴー	マンゴーシロカイガラムシ
2 月 4 日	大分	メロン、きゅうり	メロン退緑黄化病（仮称）、キュウリ退緑黄化病（仮称）
2 月 4 日	熊本	メロン、きゅうり	メロン退緑黄化病（仮称）、キュウリ退緑黄化病（仮称）
2 月 4 日	佐賀	メロン、きゅうり	メロン退緑黄化病（仮称）、キュウリ退緑黄化病（仮称）
2 月 4 日	宮崎	メロン、きゅうり	メロン退緑黄化病（仮称）、キュウリ退緑黄化病（仮称）
2 月 4 日	奈良	きゅうり	キュウリ黄化えそ病
2 月 8 日	高知	にがうり	Melon yellow spot virus (MYSV) による病害
2 月 1 5 日	長崎	メロン、きゅうり	メロン退緑黄化病（仮称）、キュウリ退緑黄化病（仮称）
2 月 1 5 日	鹿児島	おくら	アカホシカメムシ
2 月 1 5 日	鹿児島	ピーマン	ナスコナカイガラムシ

【問い合わせ先】

消費・安全局植物防疫課

担当：大岡、城島

代表：03-3502-8111（内線4562）

直通：03-3502-3382

当資料のホームページ掲載先URL

<http://www.maff.go.jp/www/press/press.html>